昼間は小楽校。夜はみんなの学び舎。～マスダひとまちカレッジとよかわキャンパス～

益田市豊川公民館

1　豊川地区の概要

(1)立地

益田市の中心市街地に隣接し都市部と山間部を併せ持つ緑に囲まれた地域。面積は20.03k ㎡。南北に国道 191 が縦断している。

(2) 公共的な施設

・豊川小学校
・豊川保育園
・豊川地区振興センター兼豊川公民館
・益田川ダム

(3) 人口と世帯数等

人口　895 人（高齢化率　36.8%）
世帯数 369 世帯　　自治会数 8 自治会

(4) 芸能・文化　石見神楽　久々茂社中

2　事業の趣旨

地域との繋がりが希薄になっている40～50 代の主婦層(PTA の OB)を対象に、活動に入りやすいきっかけづくりとしてまず調理室のリノベーションを行い、その過程で多世代の人々を巻き込み交流を図る。その活動を通して、イベント企画等の意欲を高め、地域づくりに関わってもらうことを目的とする。

3　具体的な取組内容

(1) 調理室・オープンスペースの内装リノベーション（豊川小学校内）

プロから専門的知識を学びながら調理室は 40～50 代の主婦層を中心に、オープンスペースは中高生や地域の多世代の人々も巻き込み、壁紙張替のリノベーションを行った。リノベーションをすることで多世代の人々の「交流」や「学び」の場を作ることができた。

（調理室の壁紙貼りの様子）

(2) 大人の勉強会（マスダひとまちカレッジとよかわキャンパス）

ア　プランターカバー作り（トヨカワツクリバ）

（親子でプランターカバー作り）

イ　朝ヨガ＆モーニング

調理室のリノベーションの際に集まった主婦層の方々で「わハハ」グループを結成。その「わハハ」の方々が、この朝ヨガ＆モーニングを企画し、チラシ作り等の準備も行い実施した。

（ヨガとモーニングの様子）

ウ　お正月用フラワーアレンジメント教室

エ　パッチワーク教室（トヨカワツクリバ）

リノベーションした調理室で使う小物を地域住民と作成する。地元の既存のサークルの方に講師を依頼し、コースター作りに挑戦した。

（3）先進地視察

調理室のリノベーションで高まっている意欲をさらに他の企画へ派生していくためのヒントを学びに、大田市の群言堂、江津市のNPO法人てごねっと石見への視察を行った。

4　評価と成果

（1）リノベーションを通して

調理室・オープンスペースのリノベーションの過程で多世代の交流が生まれ、40～50代女性の地域活動への参加が増えた。小学校へ足を運ぶ機会も出来、小学校が交流拠点として生まれ変わってきていることを昨年度より女性を中心に周知できた。そして40～50代女性のグループ「わハハ」が誕生したこと。

（2）マスダひとまちカレッジについて

「わハハ」の企画や幅広いジャンルの教室を行い、働いている人も参加できる時間帯（休日や夜など）に実施することで参加が少なかった年代を取り込むことができた。

5　今後の課題と見通し

新たに誕生した「わハハ」グループのメンバーを固定化することなく、常に窓口を広げて継続させていくことや、マスダひとまちカレッジ内で地域の方が企画運営するイベントを増やしていくことが今後の課題である。小学校を地域の人が集まる交流拠点として定着させ、さらに地域外の多くの人も集うように活用・発展させていく。

（文責:豊川公民館主事　古岡夏海）

※人口・世帯数等は平成30年1月現在